

# ぎかい

## 杉並区議会だより

ひとくちメモ

### 決算の認定

前年度の歳入、歳出の執行が、適切であったか審査し認定するものです。しかし、議会が認定しない場合でも決算の法的効力には影響はなく、長等の政治的・道義的責任の問題が残るにとどまります。

NO.169

平成15年1月1日発行

発行 / 杉並区議会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 編集 / 杉並区議会事務局

<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp>

# 迎春 2003年



手づくり獅子頭のおめでとーございませう

高円寺南児童館



## 年頭にあたり



杉並区議会議長  
梅田ひさえ

あけまして おめでとーございませう。

区民の皆様には、お健やかに平成十五年の新春をお迎えのことと存じます。年頭にあたり、杉並区議会を代表いたしまして、ごあいさつ申し上げます。

昨年は、長引く景気低迷の下で、構造改革もなかなか進まず、何か社会全体に閉塞感が漂っていた一年でした。

こうした中、一〇月杉並にお住まいの小柴昌俊さんが、田中耕一さんと共にノーベル賞を受賞という明るいニュースが飛び込んでまいりました。これはまさに杉並区の誇りであり、名誉です。「夢を持ちつづけ、地道に努力することが大切」と語る小柴さんが第一番目の杉並名誉区民として顕彰されることに、皆様方と共に心からお祝いを申しあげたいと存じます。

杉並区は昨年、区制施行七〇周年という記念すべき年でした。皆様方のご協力を得ながら記念行事を無事に終えることができました。これを機にさらに二十一世紀ビジョンの実現に向けて、「NPOボランティア活動及び協働の推進に関する条例」、「防災対策条例」、「まちづくり条例」、「自治基本条例」を制定しました。とりわけ「自治基本条例」は区政運営の最高規範となるもので、これからこの条例を育みながら、皆様方と協働して自立した杉並にふさわしい自治を実現していくことが大切です。

区議会も、この「自治基本条例」に関しては、区議会議員の責務などを加える修正を付して可決いたしました。また、議会改革の一環として、議員自らの提案により、議員定数を四名削減する条例を議決し、今年四月に行われます統一地方選より実施することになりました。社会の変化を的確に捉え、議会も効率的運営を目指すと共に、更に透明度を高めていく必要があります。新年を迎え、区民の皆様への幸せと明るく豊かな杉並のまちを築くため努力を重ねていきたいと、議員一同心を新たにしております。

区民の皆様には、今後とも杉並区議会へのより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



# 年頭のごあいさつ

年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします。会派とは、同じ意見をもつ議員が集まって作るグループのことです。現在、杉並区議会には六つの会派があり、五一人の議員のうち四十人が所属しています。

## 民主党・区民連合

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、すこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより、区議会と「民主党・区民連合」に対し、ご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。

私たち「民主党・区民連合」は七名の議員で会派を構成しています。一人ひとりの個性を尊重し、同時に結束を固くし

### 政策と行動で閉塞感の克服を！

ながら、少しでも住みやすい杉並区の実現を目指し、活動を進めています。日本の景気・経済はデフレスパイラルの状況であり、区財政も依然として、厳しい環境にあります。

私たちは、このような情勢をしっかりと把握し、同時に期待のできる将来展望を持ちながら、区長・山田宏さんとも更に連携を強め、奮闘してまいります。

以下、私たちの基本的な考えを、お示しいたします。

あらゆる事業での行政改革を徹底する。税金の使途の優先順位を明確にする。マルチメディア社会への対応を急ぐ。リサイクル・環境施策の充実を計る。まじめに働き、納税している区民サイドの視点から、政策・事業を確立する。本年四月の区議会選挙より、議員定数が四名削減され、四十八名になります。厳しい時代ですが、勇気と元気を基本として、皆様とともに歩んで参ります。

## 日本共産党杉並区議団

あけましておめでとうございます。さて、小泉内閣のもとでくらしが層々きびしくなり、石原都政でも福祉・教育の切り捨てです。このような時だからこそ、区民のみならずのくらし・福祉・教育を守る区政運営が求められています。

ところが、山田区政のもとで、出張所の廃止、菅平学園の公募・入札なしの売却、湯河原すぎなみ荘・自然村・富士学

### 企業利益を優先する区政から区民のくらしを応援する区政に

園・リケ浜学園を一億円余かけ新装し、企業に無償貸与。老人福祉施設を区有地提供で建設し、営利企業へ委託など区政の企業化が急速に進んでいます。

さらに、公的責任を放棄し、全てコスト計算で区民に負担を強いようとしています。

保育料の「引き上げ」、私立幼稚園保護者の負担増、家庭ゴミの「有料化」、保育

園・児童館の民間委託化推進、その上、学校規模の適正化等の名による「統廃合」など驚くべき内容となっています。

当区議団は介護保険料の減免など福祉の充実、30人学級、教室の冷房化など子どもたちの教育環境の改善、住基ネットの不参加をならぬなど努力します。

企業利益優先の区政から区民のくらし・福祉・教育を守る、あたたかい区政への転換を、みなさんと一緒にすすめるため全力を上げて奮闘する決意です。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 杉並区議会公明党

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より公明党に対し、ご支援、ご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

さて昨年は、ノーベル賞のダブル受賞があり日本中に喜びの声が上りました。区内にお住まいで、ニュートリノ宇宙物理学を切り開きノーベル物理学賞を受賞

### 生活者の元氣回復の視点を忘れず

した小柴昌俊さんが名誉区民の第一号に選ばれました。私達にとりまして誠に誇りに思えることであります。

「スマート杉並計画」がスタートして一年、区民も行政も、身を削るような思いでこれに取り組み、厳しい財政環境に置かれながらも、財政運営の健全化に努めてまいりましたが、最近の日銀の金融経済月報では、景気の総括判断では「回復

に向けての不透明感が強まっている」と述べられています。このように引き続き本年も厳しい財政事情が続きますが、公明党は「生活者の政治」を基本に、皆様の、生活の安心と安全を守る為に最大の努力をして参ります。

このために、当面の具体策として、少子高齢化、障害者福祉、環境の問題、零細企業、事業者、教育文化、等に力を注いでいく決意でございます。

区民の皆様のご多幸、ご健勝をご祈念申し上げます。

## 杉並自民議員連盟

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。ことに、日頃より「杉並自民議員連盟」に対し、温かいご支援をいただき衷心よりお礼申し上げます。

さて、バブル崩壊後、日本は今まで信じてきた神話が次々と崩れ、国民全体が自信を失い、様々な制度疲労が露呈して

### 政策で拓く 未来に誇れる 杉並づくり

います。この状況を打開するには、抜本的な改革が急務です。その改革の大きな柱の一つが地方分権の実現です。そのようなかで、山田区長は積極的に様々な政策を提言しています。私たちも会派内に「政策研究会」を設け、「いたずらな反対もしないが、安易な妥協もしない」精神で二元代表制の一翼である議会として、また12名を擁する区議会第一会派の責任

と自覚のもと、区民の皆様の生活向上にむけて全力を傾注しております。特にこの厳しい経済、社会、財政状況では、効率的で新鮮で柔軟、またしっかりと将来を見据えた「骨太の政策」の提言、周知実現が肝要と考えます。私たちも4月には任期満了を迎えますが、最後まで精一杯会派一致団結し、頑張つて参ります。変わらぬご指導を宜しくお願い申し上げます。ともに、皆様方のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

## 議員名簿

議席番号	氏名	所属会派	常任委員会	特別委員会	住居	住所	電話番号
37	山崎 一彦	共産都市	保健		荻窪4	松ノ木1-7	3313 4477
36	望月 莊平	杉自保健	保健		荻窪7	コンフォート松島105	3398 8301
35	斉藤 常男	杉自都市	保健		荻窪18	ハイツ神泉401	3229 6703
34	河野 庄次郎	杉自保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3315 4223
33	伊田としゆき	杉自区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3399 3000
32	藤本 卓三	自改文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3315 1126
31	青木 實	公明保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3336 1700
30	渡辺 重明	公明文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3394 5585
29	藤原 一男	公明区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	6765 5371
28	押村 貞子	民主区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3395 3848
27	田代 さとし	民主保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5397 6644
26	上野 章子	杉自都市	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3321 6488
25	佐々木 浩	杉自総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5397 7088
24	鈴木 信男	共産文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3330 8029
23	藤原 淳一	共産総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3331 2056
22	大泉 時男	杉自総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3328 3428
21	梅田 ひさえ	杉自区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3384 5555
20	富本 卓	杉自総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5382 4103
19	関 昌央	自民区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3399 6472
18	青木 さちえ	公明総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5373 3987
17	横山 えみ	公明保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3328 8238
16	樋口 蓉子	生ネ総財	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3390 1025
15	太田 哲二	無都市	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3332 0672
14	小川 宗次郎	民主都市	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5306 1900
13	原口 昭人	共産文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3334 8071
12	小倉 順子	共産保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3399 2195
11	ちば なおこ	杉自文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3220 7770
10	堀部 やすし	維新区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3336 4740
9	星野 ゆき路	杉自文教	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5340 2951
8	富沢 よし子	私杉区民	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3392 9823
7	小野 清人	社民保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3398 4775
6	河津 利恵子	生ネ保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3339 6647
5	くれまつ幸代	区民都市	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3398 3646
4	とかしきなおみ	杉自保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5305 5933
3	新城 せつこ	革新都市	保健		和泉13	ハイツ神泉401	3329 8813
2	くすやま美紀	共産保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5932 6170
1	久すやま美紀	共産保健	保健		和泉13	ハイツ神泉401	5932 6170





# 平成14年 第4回定例会

14年第四回定例会は11月5日開会し、二五日間の会期を終え11月29日閉会しました。初日に五つの特別委員会の活動報告を行い、その後、5日、6日、7日の三日間で十一名の議員が区政一般について質問を行いました。

8日には、条例案、平成13年度各会計歳入歳出決算などの議案を上程し、理事者の説明を受けた後に、決算及び自治基本条例を除いた議案は、関連する各所管委員会に付託

しました。また、専決処分、報告を承認しました。自治基本条例については、重要案件のため、議員全員による自治基本条例に関する特別委員会を設置し審査することに決定し、決算についても、議員全員による決算特別委員会を審査することに決定しました。

11日からは、各常任・特別委員会を開き、条例案件、補正予算の審査を行いました。18日から26日にかけては決算特別委員会を開き、決算審査を行いました。また、26日は、決算特別委員会終了後、本会議を開き、杉並名誉区民条例等は付託を省略し、表決を行いました。続いて、職員の給与改定に伴う条例改正案を上程し、理事者の説明を受けた後、総務財政委員会、文教委員会にそ

## 「平成13年度各会計歳入歳出決算」を認定 「自治基本条例」「まちづくり条例」などを可決

それぞれ付託し、本会議終了後、委員会を開き審査しました。27日から28日にかけては自治基本条例に関する特別委員会を開き、条例案の審査を行いました。最終日29日は、各委員会に付託した議案の審査経過の報告後、自治基本条例を除く全議案を原案どおり、可決及び認定し、自治基本条例の修正案及び修正案を除く原案について、表決を行いました。続いて自治基本条例に付する付帯決議が議員から提出され、説明後、質疑応答、意見発表を行い、表決の結果可決しました。また、追加議案のノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊氏を杉並名誉区民に定めることについても全会一致で同意しました。なお、杉並区長の在任期間に関する条例は継続審査になりました。



### 自由民主党杉並区議団

**夢・希望・明るい地域社会の創造を**  
あけましておめでとうございます。区民の皆様には、期待に満ちた新しい年をお迎えのことと存じます。日頃より、自由民主党杉並区議団に対して温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の9月17日には、小泉さんが戦後初めて、首相として北朝鮮を訪問しました。時代がグローバル化する中で、世界から孤立する北朝鮮の扉を開いたあの劇的な瞬間に明るい未来を夢見ました。また、昨年は、二人の日本人がノーベル賞を受賞されるという快挙を成し遂げました。特に、小柴昌俊先生におかれましては、同じ杉並区民ということで二重の慶びとなりました。

我が会派では、こうした明るい話題が本年も見聞できますことを願いつつ、夢と希望を持ちしっかりと前を見て進もう」ということを年頭にあたり誓いました。地域に暮らす皆様の福祉の向上には、環境、教育、健康どの分野にあっても欠かすことのできない政治的課題が潜在化しており、真剣な取り組みが求められています。

私も会派は、これら課題の解決に向け、山田宏区長とも手を携え一生懸命努力して参ります。皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

### 杉並フロンティア

**杉並区政のさらなる前進に全力を尽くします**  
あけましておめでとうございます。「去年今年貴く棒の如きもの」という高浜虚子の有名な新春句は、その斬新さ、耳にひびく語調の鋭さで、山田宏区長の政治姿勢と相通するものがあると思えます。

わが会派は杉並の自立安心をめざして改革に強い意志と実行力を発揮している区長と連携をし、また、より一層の区政発展にむけて様々な分野で調査・研究をすすめ提言・要望をしまいにしました。引き続き協力・信頼関係を保ちながら一方で真摯な議論を深めて参ります。区民の皆様から信託いただきました私どもの任期も本年4月までとなりましたが、振り返っても確実に杉並区政は前進してきたと自負しております。

また2月からの第一回定例会では本年度予算や他の議案が提出をされますが、その中でも、昨年から継続審議となりました、杉並区長の在任期間に関する条例については、民主主義の一つのルールを確立するうえで成立させなければならぬ非常に重要な議案と捉えておりますので誠意に対処して参りたいと考えております。

おわりとなりましたが、区民の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。わが会派の決意と新年の挨拶とさせていただきます。

議員番号	氏名	所属	所属会派	選挙区	得票数
52	今井 讓	杉自	文教	用途	3304
51	曾山 繁	杉自	都市	用途	3333
50	本橋 昭治	杉自	総財	用途	3395
49	小泉 やすお	杉自	文教	災害	3333
48	吉田 武	自民	総財	災害	3337
47	大室 義郎	自民	区民	道交	3321
46	宮原 良人	公明	都市	道交	3380
45	山川 義三	公明	区民	用途	3397
44	西村 文孝	公明	総財	用途	3331
43	川上ひろまさ	民主	自治	用途	3247
42	横倉 たかお	民主	都市	用途	3322
41	木梨もりよし	民主	文教	用途	3304
40	門脇 文良	民主	総財	自治	3398
39	武田 周吾	杉フ	文教	災害	3312
38	真々田 邦義	共産	区民	災害	3312

- 議員名簿中の所属会派・構成、常任委員会、特別委員会は左記のとおり。**
- 所属会派・構成**
- 杉自：杉並自民議員連盟(十二人)
  - 公明：杉並区議会公明党(八人)
  - 共産：日本共産党杉並区議団(七人)
  - 民主：民主党・区民連合(七人)
  - 杉フ：杉並フロンティア(三人)
  - 自民：自由民主党杉並区議団(三人)
  - 生ネ：杉並・生活者ネットワーク区議団(二人)
  - 革新：都政を革新する会(一人)
  - 杉プ：杉並市民プロジェクト(一人)
  - 無：無所属(一人)
  - 維新：平成維新(一人)
  - 社民：社会民主党(一人)
  - 私杉：私たちの杉並をつくる会(一人)
  - 区民：杉並区民会議(一人)
  - 杉ル：杉並ルネッサンス(一人)
  - 自改：自由民主党改革連盟(一人)
- 常任委員会**
- 総財：総務財政委員会
  - 区民：区民生活委員会
  - 保健：保健福祉委員会
  - 都市：都市環境委員会
  - 文教：文教委員会
- 特別委員会**
- 自治：地方自治・分権等調査特別委員会
  - 道交：道路交通対策特別委員会
  - 用途：用途地域対策特別委員会
  - 災害：災害対策特別委員会
  - 清掃：清掃・リサイクル対策特別委員会
- 議会運営委員会の構成が変わりました**
- 委員一名の辞任に伴い、11月5日の本会議で議長が新しく一名の委員を指名しました。
- 新しい構成は、次のとおりです。(新委員)
- 委員長 今井 讓 / 副委員長 山 川 義三 / 委員 富本 卓・大泉 時男・藤原淳一・鈴木信男・渡辺 重明・武田周吾・木梨もりよし・横 倉たかお・西村文孝・大室義郎・本 橋昭治





# 一般質問

区政一般について一人の議員が質問しました。その一部要旨をお知らせします。

## 米のイラク攻撃、有事法制に反対を

**問** 米国はイラク攻撃をしようとしている。日本共産党は独自訪問団を派遣しイラクの査察無条件受け入れを確認した。小泉総理は国際協力が重要と有事法制を成立させ、米国への協力姿勢を示している。「米国の海外での戦争に日本が参戦し、国民の権利と自由を奪う本質」は変わらない。有事法制に反対を言明すべき。

**答** 国家急迫不正侵害に対し、法整備は必要と考えている。

**問** 小泉内閣のもと、くらしと経済は重大な岐路に立たされている。不良債権処理による失業、倒産などで所得減が生じている。さらに、医療、介護、年金、雇用保険で3兆円余の負担増、配偶者特別控除の廃止、消費税免税点引下げなど、国民に痛みを強い、その一方で大企業には2兆円減税の検討など逆立ち政治で

**問** JR阿佐ヶ谷・西荻窪駅改築で大型店出店計画がある。調整条例では、500㎡を超えれば大型店である。共産党は、要綱・調整条例の制定へ努力してきた。大型店であれば法律の規定による住民説明がルールであるが実施されていない。両駅の出店概要を示せ。また、JR会社法10条は「地域経済に与える影響から中小企業の事業、利益を侵害しないよう特に配慮しなければならぬ」との要旨である。地域経済への違法性を見解を求めろ。

**答** 阿佐ヶ谷駅の店舗面積は800㎡、西荻窪駅は550㎡である。10条はJR自身の規定であり、区の判断は困難である。

## 今後の区長の区政運営について問う

**問** 区長は、今後の区政への取り組みに対しどのような心境か。当選の前後を振り返り、今後何をなすべきと思うか。

**答** 本来の自治を築き上げ、限られた財源の中で、真の繁栄と区民の安寧を実現するつもりである。情報を共有し参画の仕組みをつくり上げたい。

**問** 地方への税源移譲の具体策が見送られたが、区長は、どのように受け止めたか。

**答** ある。国民いじめの施策は中止すべきと考える。見解は、経済危機の打開と総合的な対策は不可欠。改革の中止ではなく、実行だと考える。

**問** JR阿佐ヶ谷・西荻窪駅改築で大型店出店計画がある。調整条例では、500㎡を超えれば大型店である。共産党は、要綱・調整条例の制定へ努力してきた。大型店であれば法律の規定による住民説明がルールであるが実施されていない。両駅の出店概要を示せ。また、JR会社法10条は「地域経済に与える影響から中小企業の事業、利益を侵害しないよう特に配慮しなければならぬ」との要旨である。地域経済への違法性を見解を求めろ。

**答** 阿佐ヶ谷駅の店舗面積は800㎡、西荻窪駅は550㎡である。10条はJR自身の規定であり、区の判断は困難である。



こま講習会 (上荻児童館)



## 時代に即した健診事業を！ 区役所内駅前保育所実現を！

**問** 区民健診の内容を、時代の変化による疾病構造の変化や進歩に合わせ、よりレベルの高い効率のよい内容にすべくである。具体的には、肺がん検診における、ヘリカルCTの導入、乳がん検診におけるマンモグラフィの導入、眼科健診における矯正視力検査と眼圧測定を導入である。健

**答** 区民の区政への参画意識の一層の高揚に寄与すると考える。証券発行や満期一括償還方式など一定の考えをまとめた。まちづくりに役立つ対象事業を選定し持ちきりやすい5年債などを検討する。

**問** ペイオフが2年間延び、基金の運用先をどう考えるか。安全性・効率性をどう保つか。職員から資金管理の専門家の養成を考へてはどうか。

**答** 運用基金は、決済性預金を中心に、積立基金は、各基金の総合化で運用資金の大型化や中・長期の運用をする。当面半分程度を安全性や効率性のよい5年以下の国債、残余を主として定期性預金で運用する。預金先は、安全な金融機関とする。資金管理担当係長をリーダーにチームを立ち上げ選択すべき金融機関の基準等を策定した。

**問** 区民健診の内容を、時代の変化による疾病構造の変化や進歩に合わせ、よりレベルの高い効率のよい内容にすべくである。具体的には、肺がん検診における、ヘリカルCTの導入、乳がん検診におけるマンモグラフィの導入、眼科健診における矯正視力検査と眼圧測定を導入である。健

**答** 診で生活習慣病やがんの発見率を上昇させ、がん死亡率減少効果や、失明率減少効果をあげるには、受診率向上が最重要課題である。見解を伺う。

**問** 喫煙防止対策等を含めた総合的ながん予防対策の一環として研究課題としたい。区内には、マンモグラフィ検査施設を持つ医療機関が少な

く、高度な読影技術を伴うことなど、検査体制の整備が必要なため研究課題としたい。効果的な早期発見や眼科受診の勧奨方法などを研究したい。かかりつけ医からの推薦を含め、受診率については、大幅に向上させる策を考えたい。

**問** 病後児保育について、対象を区内の6歳以下の全ての児童へ拡大し、病児保育までも含めてほしい。当該施設数を、3ヶ所以上に増設してほしい。見解を伺う。

**答** 感染症への対応やそれに伴う施設整備のあり方等難しい課題もあり、需要の動向、実施自治体の事例等を参考にしながら、研究したい。

**問** 議会傍聴者の子どもの一時預かり機能と、区役所職員のための企業内保育室機能、

**答** 駅上立地を生かした駅前保育所機能を併せ持つ保育施設を、区役所内に設置してほしい。見解を伺う。

**問** 実測しながら考えていきたい。

## 障害者区議会を開催



12月3日(火) 区議会議場において、今年が初めての開催となる「障害者区議会」が行われました。テーマは「地域で安心して暮らすために望むこと(日常生活や災害時における対策について)」でした。知的障害者20人、身体障害者15人、精神障害者4人の合わせて39人の障害者が一日議員として出席しました。会議中は手話通訳に加え、筆記通訳によって発言がスクリーンに表示されました。

梅田議長の開会宣言、山田区長のあいさつ、があり、その後障害者議員代表が、一人暮らしをしたいができる環境作りと支援、就労機会の整備、障害者の意見や考えをきいてほしい、24時間体制の相談窓口の設置、災害弱者への対策、差別・偏見をなくすノーマライゼーション、路上段差や放置自転車などの障害物対策など様々な質問が行われ、区長や部長等が答弁しました。活発な発言と答弁があり、2時間余りの議会を閉会しました。

## 環境、福祉、教育・文化等の施策を拡充し実施せよ

**問** みどりの減少をくい止め、学校や保育園等の公共空間、民間の屋上緑化を考へよ。取組みと計画を伺う。

**答** みどりの基本計画に基づき緑化施策を展開し、屋上・壁面緑化の助成制度の活用や区民とのパートナーシップによるみどりの基金の運用、公共施設の新たな場所の緑化、民間の緑化指導の強化など総合的に取組みたい。

**問** 介護施設入所待機者への対応で整備目標と計画を伺う。

**答** 17年度までの実施計画では1年以内の入所を目標に入所型施設を整備する。特別養護老人ホーム等全体で500人の新規入所に対応したい。

**問** 公共施設への託児室や授乳コーナーの設置など、「子育てバリアフリー」を提案するが、保健福祉計画、実施計画における目標や計画を伺う。

**問** 介護給付費準備基金を、どのよう活用していくのか。

**答** 本年度の給付費に不足が生じた場合に充当するほか、次期事業運営期間の第1号保険料への充当を考へている。

**問** 阿佐ヶ谷、高円寺地域などみどりが少ない地域のみどりを増やすことが必要と考へるが、どのように増やしていくのか。

**答** 屋上・壁面緑化や接道部緑化に向けた助成制度の活用PRを行い区民や事業者との連携による緑化対策を進めたい。

## 高井戸図書館・社会教育会館は現状での存続を求めろ

**問** 高井戸中学校改築計画時に15学級必要としたが、12学級で建設した。教育委員会は推計の誤りをどう思うか。

**問** 介護保険事業計画の改定では、サービスの必要量の見込み、その提供をどのように確保していくのか。

**答** 必要量は利用者の意向及び利用状況等から設定している。19年度には、一部を除き100%提供できる見込みとしている。

**問** 介護給付費準備基金を、どのよう活用していくのか。

**答** 本年度の給付費に不足が生じた場合に充当するほか、次期事業運営期間の第1号保険料への充当を考へている。

**問** 阿佐ヶ谷、高円寺地域などみどりが少ない地域のみどりを増やすことが必要と考へるが、どのように増やしていくのか。

**答** 屋上・壁面緑化や接道部緑化に向けた助成制度の活用PRを行い区民や事業者との連携による緑化対策を進めたい。





### 区議会を傍聴しましょう

区議会の本会議や委員会は、定員の範囲以内でどなたでも傍聴できます。また、車いすでの傍聴や手話通訳による傍聴もできます。傍聴をご希望される方は、希望日当日、区役所中棟3階の区議会事務局までお申し込みください（手話通訳ご希望の方は希望日の四日前までにお申し込み下さい）。第一回定例会は、2月24日（月）開会予定です（日程等のお問い合わせは、2月18日以降に区議会事務局へ）。

### 自治体の責務として 食の安全確保に努めよ。

**問** 保健福祉計画素案で、「食の安全確保」が明記された。食の問題を十分受け止めていく方針か。  
**答** そのように考える。素案の「区民の不安解消への取り組み 食品添加物、表示に対する監視指導の強化 食中毒防止対策の強化 食品業者等の自主管理体制の指導育成、こつした事業を通じ、BSE（狂牛病）や虚偽表示な

**問** どの健康危機に迅速に対応し、区民との双方向の情報交換を行い、食の不安や不信を解消したい。  
**答** （食品の安全確保のため）のリスクコミュニケーション（消費者、NPO、食品関係業者等を交えた意見交換の場）は、自治体でも実施されるべきだが対策を示されたい。  
**答** 相互理解に重要である。様々な形で継続的に実施する。

### 環境博覧会についての「環境」への配慮を問う

**問** 環境博覧会全体の運営に、「環境」の視点からどのような配慮がされていたか。  
**答** 博覧会全体を環境配慮行動の場と位置付け、出展団体

### 民間バス事業者による循環型ミニバス運行事業の拡大を

**問** 交通不便な久我山・上高井戸周辺地域を循環するミニバスを運行してほしいという区民からの要望が起きている。例えば、上高井戸一丁目の京王線八幡山駅から久我山商店街通りを抜けて久我山駅前の人見街道を左折して、富士見ヶ丘駅を越えて八幡山の駅に達するコースを循環するのはどうか。さらに基本コースを繋ぐ、（停留所のポタポタでバスを呼び）デマンド方式も採用すべきだが、ミニバスの運行を実現するために区からの積極的なバス会社への働きかけをすべきと思うが。  
**答** バス運行のために、国土交通省、警視庁及び地域を所管する警察署との協議やバス事業者の採算性などの課題があり、バス事業者に情報提供などをしながら運行可能性に

### 女性、障害のある人、外国人の参画と雇用の拡大を

**問** 障害のある人や要介護者の区政への参画などを進めるため、IT講習では障害に配慮した取り組みを求めたい。  
**答** コミュニケーションや外出などの困難を抱えている方たちの参画のため、ITの活用などを含めて取り組みたい。  
**問** 障害のある人の雇用と訓練の場の拡充策が必要である。民間への就労促進と共に、区の全庁的取り組みを求めたい。  
**答** 商工関係団体への働きかけによる職域開拓、企業への職場定着支援、就労支援ネットワークづくり、空き店舗の活用による場の拡大などを計画している。区職員の採用、区施設での雇用の場の提供をしてきている。

### 新しいタイプの学校の創設を 新しい図書館像の創造を

**問** 区があえて小中一貫校の必要性を主張し、積極的に提案した理由は。  
**答** 小中9年間を見通した教育課程の創造をめざしたものである。  
**問** 新しい教育の実現にあたっては、区民提案も募集すべきだ。トップダウンでつくる学校も否定しないが、ボトムアップでつくる学校も認めていくべきでは。  
**答** 実際に特区を申請した後の課題と考えている。  
**問** 資料購入費が減り、相談業務・レファレンスサービスが低下すると、図書館はただの貸本館になってしまう。  
**答** 新宿区では図書館の資料購入費を削減しないために図書館の統廃合を進めるとしている。区では今後も新たな図書館の建設を進めるといっているが、大丈夫なのか。

### 子ども区議会を開催

12月10日（火）、区議会議場において、今年で10回目となる平成14年度「子ども区議会」が開催されました。私立を含む区内小学校の5・6年生46人が出席しました。梅田議長の開会宣言、山田区長のあいさつ、会議録署名子ども議員の指名があり、その後子ども議員代表が、ごみ・からす対策 道路・交通 福祉のまちづくり 環境 公園 教育・学校設備の六分野に分かれ質問をしました。分野毎に代表質問者の発言があり、他の子ども議員が代表質問に関連して的確で鋭い質問を行い、区長や部長等が答弁しました。最後に、「自然を大切に、お互いに助け合うやさしい心をもち、いつも笑顔でふれあい、みんなの心と力をあわせてはつらつとした街をつくっていく子どもでいたい」という趣旨の「笑顔でふれあう緑豊かな都市宣言」の建議を各子ども議員の意見発表の後、全員一致で採択し、閉会しました。

**問** 文化・交流協会の事業は、グローバル化で目的も変化しているはず。認識を伺う。  
**答** 地域で共生する社会の創出、国際性豊かな地域社会づくりの事業展開が必要である。  
**問** 協会も、時代に即応した事業の開発、専門性をもつ職員育成などで、自立的な運営が求められるが、組織的役割や活動方針、事業の優先度を当事者、区民の参画で、また、外国市民の実態調査や区

民の意向調査も行い再検討する仕組みを設けるべきだが。  
**答** 自立的運営の促進の観点で、区民参画の拡大のため協会の組織形態等を検討したい。  
**問** 「子ども行政」は何を意味するか。全庁的な連携を検討する必要があるがどうか。  
**答** 子どもに関する総合的な施策の推進の意味で用いている。関係部門が連携し施策を推進する必要があると考える。

せす、来場者へは、マイバッグの持参、資源の分別、模擬店での皿の再利用をした。運営上の必要性と環境配慮の兼ね合いを考えながら、できる限り環境への影響の少ない使用方法を工夫している。  
**問** 区は、イベントでのぼり旗を使用しているが、環境上どのように考えているか。  
**答** 生地はポリエステル、支柱は非塩ビ系樹脂と材質も環境への負荷の少ないものを繰り返し使用している。  
**問** 各団体への補助金が妥当なのか、外部監査などを含めどのように取り組まれるのか。  
**答** 行政効果と経費負担の観点で精査し、整理合理化する。

**問** 放射5号線の計画について、玉川上水の自然を残してほしいという区民の要望を、区はどう捉えているか。また、区は、区民の要望を都にどのように伝えているか。  
**答** 計画を進めるにあたっては、多方面からの考察、検討を深めるとともに、関係者に十分説明し、意見や要望を聞き、より良い計画案として合意形成をはかるべきと考えている。こうした立場で事業を進めるよう都に要望している。

**問** 政策決定過程について、より積極的に区民へ情報を提供していく考えがあるのか。  
**答** 手続を明確にし、さらに充実を図りたい。  
**問** 町会・自治会の役割が変わってきていると考えるが、区政運営にあたってどのような対応を考えているか。  
**答** NPO団体など新たな地域活動団体と連携し、地域社会全体の活性化を視野に入れた活動が期待されると考える。区政運営にあたり、地域コミュニティ形成を促進し、区民主体のまちづくりを進めるための真のパートナーとして、区と町会・自治会との多様な協働関係を築きたい。

**問** 区があえて小中一貫校の必要性を主張し、積極的に提案した理由は。  
**答** 小中9年間を見通した教育課程の創造をめざしたものである。  
**問** 新しい教育の実現にあたっては、区民提案も募集すべきだ。トップダウンでつくる学校も否定しないが、ボトムアップでつくる学校も認めていくべきでは。  
**答** 実際に特区を申請した後の課題と考えている。  
**問** 資料購入費が減り、相談業務・レファレンスサービスが低下すると、図書館はただの貸本館になってしまう。  
**答** 新宿区では図書館の資料購入費を削減しないために図書館の統廃合を進めるとしている。区では今後も新たな図書館の建設を進めるといっているが、大丈夫なのか。

**問** 効率的な運営と時代に合った図書館サービスの充実を図るために、現在図書館運営のあり方を検討している。  
**問** 経済低迷は深刻で、多くの人々は生活を維持するために新たな知識技能の修得に迫られている。図書館も、大人の生涯学習・リカレント教育を視野に入れた取り組みを強化していくべきだが。  
**答** 区民のニーズを的確につかみながら実施していく。図書館におけるビジネス支援については、課題のひとつと受け止めている。

**問** 選挙直前となる来年度当初予算は暫定予算とし、公会堂改築は見送るべき。  
**答** きわめて政治的な判断が必要であり、慎重に考えることになる。

**問** 区民のニーズを的確につかみながら実施していく。図書館におけるビジネス支援については、課題のひとつと受け止めている。





# 意見発表

## 財政基盤の確立と区民ニーズへの柔軟な対応を評価

杉並自民議員連盟

わが会派は、次の理由により各会計歳入歳出決算全てを認定する。

理由一、不透明な財政環境の中で、多くの行政需要に因應するため、的確な財見通しを立て、財政の健全化を心がけたことである

理由二、慎重な財政運営に努めたことである

## 財政運営の健全化に努めたことを評価

杉並区議会公明党

次の意見、要望を附し各会計決算をすべて認定する。

理由一 財政運営の健全化に努めた。経常収支比率が12年度より2.8ポイント下回り、82.2%に改善された。積極的な歳入確保の努力が見られた。人件費構成比率は、31.2%で、前年度より0.7ポイントの減である。歳出

決算特別委員会の最終日(11月26日)に、各党派の代表から決算の賛否について意見発表がありました。その一部要旨をおしらせします。

判断し、これを評価する。理由二、財政健全化をすすめるが、杉並区実施計画の予算化をはじめとして、区民の期待にこたえる施策を、着実に実行したことである。

また、行政改革の成果を行政運営に反映させ、新しい行政需要に的確にこたえるよう努めた。実施計画の、当初予算計上率は、91.8%、決算において98.5%であり、計画事業のほかにも、保育、福祉、産業振興、環境、教育

理由二 予算が、簡素で効率的に執行された点である。スマートすぎない計画の初年度でもあり、時代の変化に的確に対応した行政運営が行なわれた。内部努力の徹底、歳入の確保、施策の見直し等の目標を掲げ、大胆な取り組みをし、財政効果目標額をはるかにしのぐ、約36億2000万円の達成額を示し、職員削減目標70人を立て、達成数は108名と成った。行政体質の変革に着手し、区政全般にわ

守る施策が貧弱である。三、「行革」で区民負担増とサービス切捨てをすすめた。財政難の元凶は国や都の悪政の影響を大きく受けているが、区民と共に立向かい改善させる姿勢がない。逆に区民の強い反対がありながら、「スマートすぎない計画」で区民負担増をすすめてきた。

四、自治体の責務を投げ捨て「営利企業化」、「大企業優遇化」に突き進んだ。区は国の「社会福祉基礎構造改革」路

などの分野で、多くの新規施策が実施された。区民の生活に支障を来さないよう、また、区民の新しいニーズにこたえるよう、積極的な施策展開・区政運営に努力したものと評価する。厳しい財政環境を見通すとき、さらに賢明な行政運営を強く要望する。

理由三 区民との情報共有に努めながら、区民との協働により新しい自治の構築を心がけたことである。

一方では、特養ホーム、保育線に迎合し、措置から契約へと変わったことで、これまでの福祉が、時代の流れにそぐわない」と描き出した。障害者などの医療費助成制度や各種手当などは、所得制限の強化などで対象者を減らし、自助努力を強要してきた。福祉に大ナタを振るい事業の縮小、廃止を続けている。

五、住民不在と不便のまじりくりであり、ごまかしの環境対策であったことである。出張所が廃止された。計画の説

## 監査委員の意見



各会計歳入歳出決算及び各附属書類の様式は、いずれも関係法令に準拠して調製され、その計数についても、関係諸帳簿及び予算執行票等の証書類と照合した結果、誤りのないことを確認した。

### 一、一般会計について

歳入総額は、2.0%の増、歳出総額は1.5%の増となった。形式収支額、実質収支額及び半年度収支額は、いずれも前年度に引き続き黒字となった。財政指標では、実質収支比率は、5.7%、経常収支比率は、82.2%、財政力指数は、0.71、公債費比率は9.8%であった。

歳入決算は、収入率が予算現額に対し、101.2%と前年度を0.6ポイント上回り、調定額に対し、96.4%と前年度を0.7ポイント上回った。不納欠損額は、六億三〇〇〇万円余で前年度より三億九〇〇〇万円余の減となった。収入未済額は一億一〇〇〇万円余で、前年度より五億円余の減となった。歳入決算額の、財源別の前年度比較では、一般財源で5.0%の減、特定財源で、25.3%の増となっている。歳入確保については、収入未済額が減少しており、区の努力は評価できるが、負担公平の観点と財政健全化の為に、引き続き不断の努力を要望する。

歳出決算の執行率は、予算現額に対し97.4%と前年度を0.1ポイント上回った。歳出決算額の、性質別前年度比較では、消費的経費で、1.6%の増、投資的経費で、102.4%の増、その他経費で、26.6%の減となった。財政健全化のためにも、人件費・物件費等、消費的経費の抑制について、引き続きの努力が必要である。一般会計の決算を総合的に判断すると、

平成14年9月2日から10月21日にかけて、13年度各会計歳入歳出決算審査にあたった監査委員の意見の要旨です。

依然として、厳しい財政環境の中でも、歳入の確保や、既定経費の削減等に努めるなど収支の均衡を図り、財政運営の健全化に努めたところが認められ、全体としては適正である。財政状況は、経常収支比率が、適正水準といわれる範囲を超えており未だ硬直状態を脱してはいないと言えるが、二年連続して改善されるなど、区の努力は評価できる。しかし、我が国の経済について、政府は、環境は厳しさを増しているとし、景気に対する警戒感を強めており、当区としても今後、歳入の減少が避けられない状況であり、引き続き、厳しい財政運営を余儀なくされることが予測される。一方区政には、ITの推進・健康都市杉並の実現・地域経済の活性化・環境先進都市の実現・教育改革の推進などの課題が山積している。

以上のことから、今後、歳入面では、特別区税等の歳入確保を図るとともに、地方税財政制度の改革や、超過負担の解消など、自主財源の拡大について、国へ強く要請し、歳出面では、増大する行政需要にこたえ、施策や事業を見直し、内部努力による経費削減を図るなど、計画的・効率的で適正な予算執行に努め、将来を見通した財政の健全化に、努力することを、要望する。

二、国民健康保険事業会計について 事業運営に関する経費の、明確化を図るという会計設置の趣旨に沿い全体としては適正に執行されている。しかし、医療分保険料の収納率は、現年分87.9%、滞納繰越分28.3%と、滞納繰越分はやや上昇したものの、現年分は五年連続で低下している。収納率向上や、歳出抑制について、更なる努力を要望する。

三、老人保健医療会計について 高齢者の医療に係る経費の明確化を図るという会計設置の趣旨に沿い、適正に執行されている。

四、用地会計について 先行取得した公共用地の経理内容の明確化を図るという会計設置の趣旨に沿い適正に執行されている。 五、介護保険事業会計について 介護保険運営に係る経費の明確化を図るという会計設置の趣旨に沿い適正に執行されている。





### 公平で、聖域のない行政改革の推進を

#### 民主党・区民連合

民主党・区民連合は、13年度の各会計決算を認定する。高齢化社会が進むなか、在宅の介護には限界があり、施設入所待機は区内で二千人、特に急ぐ方でも待機は四百人に増加している。

また、女性の社会進出、世帯主の給与カット等により、保育園入園待機も、年度末に

委託による1校あたり1000万円の支出減等があった。また、次年度に成果の出る吾妻や湯河原等の宿泊保養所の見直しを検討した。

こと。二、建替えをした保健所における、施設や備品の未活用を改善することを始め、出張所の跡地、学校の空き教室など、区の施設を、有効に活用すること。

三、高齢者介護では、事業者間の不公平を是正するとともに、利用者の最低限の生活確保すること。

四、障がい者支援では、身近な所で自立を目指すよう、基礎整備を着実に進展させること。

五、幼稚園の保護者負担は、私立と区立の格差をなくす等の、子育て支援を推進すること。

終わりに、「民主党・区民連合」は、これからの少子高齢化社会をむかえ、区民が、不安を少しでも減らして暮らせるように、全ての区民に公平で、聖域のない行政改革を推進することを約束する。

### 価値の創造、独創性と行動力で区政の進展を

#### 杉並フロンティア

わが会派は、内外の環境下にたち、健全な財政運営に十分に配慮したか、区民ニーズ、区民要望を、どのように反映し寄与したか、予算を、適正かつ効率的に執行したか、を中心に決算審査に臨み、次の理由から各会計歳入歳出決算をいずれも認定する。

一、歳入では、特別区民税の

できるものと判断した。二、区民ニーズ、区民要望を反映し、区民福祉の向上に寄与した成果がみられる。新たな施策として、環境都市の実現に努力している。ごみ会議、環境博覧会の実施、マイバツグ推進事業の展開、ISO14001の認定取得、緑の校庭づくりなどの成果をあげている。豊かな老後環境づくりとして、低所得者の介護保険利用の負担軽減、痴呆性高齢者グループホームの建設助成、

在宅介護支援センターの整備、高齢者自立度アップ支援事業などが図られている。心身障害者へはホームヘルプサービス事業やショートステイ事業などが実施されている。少子化対策の駅前保育、児童館の改築など、施策を充実している。教育改革アクションプランを策定し様々な取り組みを展開している。区民の要望に応え、きめ細かな施策の展開が図られ、区民福祉の向上に寄与したことを評価する。

### 堅実な財政運営を評価

#### 自由民主党杉並区議団

自由民主党杉並区議団は、次の理由により各会計歳入歳出決算全てを認定する。

理由一、現在の厳しい社会経済情勢を真摯に受け止め、区政の効率化を図り、区民のよりよい暮らしの実現に向けた区政運営をこころがけたことである。財政構造の健全度を表す指標の一つである、経常

態を把握し、区民の目線にあわせて区政運営に努め、新税の導入などは慎重にするよう要望する。

理由二、厳しい財政状況の中で、堅実な財政運営を行いつつも、真に区民が求める施策の実施に努めたことである。特別区民税が長期にわたる景気低迷で減少しつつある中で、安易に減税補てん債に依存せず発行額を段階的に圧縮し、最終的にはゼロにすることを目標に努力を行ったほか、職

第四回定例会で次の意見書を議決し、地方自治法第九九条の規定に基づき、関係機関に提出しました。

議・調整の上検討してもらいたいとの要請が行われている。

こうした動きの中、十一月六日開会の都議会決算特別委員会において、都福祉局長は、「これまでの画一的な仕組みを、サービス向上に向けた施設の努力が真に報われる制度とするよう慎重に検討を進めている。制度改正には一定程度の準備期間も要するため、支援費制度に移行する障害者施設を除き十五年度中の制度改正は実施しない方針とする」と答弁している。

人件費補助をはじめとした民間福祉施設に対する都独自の補助制度は、当該施設における人材確保を支援し、サービス水準の維持向上に不可欠なものとなつていく。また、補助対象施設の多くは私立保育園であり、仮に、今後当該補助制度が廃止又は削減という事態になれば施設の存続さえ危うくなるもので、区市町村における保育・福祉行政に多大な影響を及ぼすことは明らかである。

よって、杉並区議会は東京都に対し、今後も、今回の「中間提言」を安易に受け入れることなく、関係者や区市町村と十分協議し、慎重に検討するよう強く求めるものである。

平成14年11月29日

## 意見書

### 「民間社会福祉施設サービス推進費補助」の維持を求める意見書

提出先「東京都知事」

内容「福祉サービス提供主体経営改革に関する提言委員会」は、福祉サービス提供主体の改革のあり方と、それを実現するために東京都が取り組むべき方向性について検討を行ってきたが、本年七月二日、東京都福祉局長に対し中間提言を提出した。中間提言では、東京都の役割を、福祉サービスの供給基盤を整備するとともに利用者が安心して主体的にサービスを利用・選択できるように仕組みをつくりだしていくこととしている。こうした役割を踏まえ、福祉サービス提供主体に対する施策を、自律的な運営と自主的なサービス向上努力を促すものへと再構築することが必要として、民間社会福祉施設に対する運営費補助の見直しを提言している。

これを受けて東京都福祉局長は、「福祉サービス提供主体の改革への取組について」の中で、当委員会の中間提言の問題提起を受け止め、その内容を吟味しながら、改革のあり方及びその進め方について検討していくとしている。この間、特別区長会をはじめ関係団体から東京都に対し、十分な協

## 請願・陳情

### 採択されたもの

「民間社会福祉施設サービス推進費補助」の維持を求める意見書の提出に関する請願（14請願第6号）

趣旨採択されたもの

区立済美養護学校幼児教室存続に関する請願（14請願第4号）中第二項【施設内障害児の受入態勢整備】

杉並区議会議員数削減に関する陳情（13陳情第42号）

杉並区議会議員の定数削減に関する陳情（13陳情第65号）

杉並区議会議員の定数削減に関する陳情（14陳情第34号）

不採択されたもの

区立済美養護学校幼児教室存続に関する請願（14請願第4号）中第一項【区立済美

養護学校幼児教室の存続」

杉並区議会議員の定数維持に関する陳情（14陳情第36号）

杉並区議会議員の定数増員を求めることに関する陳情（14陳情第37号）

杉並区議会の議員定数維持に関する陳情（14陳情第38号）

杉並区議会議員の定数削減反対に関する陳情（14陳情第39号）

杉並区議会議員の定数維持に関する陳情（14陳情第40号）

杉並区議会と議員の活動の一層の活性化、充実を求め、議員の定数の削減に反対することに関する陳情（14陳情第48号）

# 意見発表

決算特別委員会の最終日（11月26日）に、各会派の代表から決算の賛否について意見発表がありました。その一部要旨をおしらせします。

今回結果の出なかったものは、引き続き審査します。



**ご利用ください** 声・点字の区議会だより  
 区内にお住まいの視覚障害一、二級の方とその他特に希望される方に、本紙を録音した「声の区議会だより」又は「点字の区議会だより」のどちらかを、発行のつど郵送でお送りしています。「声の区議会だより」については、一回ごとに聴き終わったテープを返送していただく方式（無料）をとっています。利用ご希望の方は区議会事務局までお申し込みください。また、各地域区民センター、図書館（声の区議会だよりは中央図書館のみ）福祉事務所などにもあります。障害者の方へお知らせください。

意見のわかれた議案等 (=賛成、×=反対、欠=欠席) 1は11月8日議決 2は11月26日議決 1、2以外は11月29日議決	杉 自	公 明	共 産	民 主	杉 フ	自 民	生 ネ	革 新	杉 ブ	無 新	社 民	私 杉	東 自	区 民	杉 ル	結 果
自治基本条例			×	欠2												修正 可決
自治基本条例に付する付帯決議																可決
まちづくり条例																可決
杉並名誉区民条例(2)																可決
事務手数料条例の一部改正			×													可決
区営住宅条例の一部改正																可決
区立社会教育センター及び社会教育会館条例の一部改正			×													可決
区職員の給与に関する条例の一部改正																可決
区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正																可決
個別外部監査契約の締結について																可決
平成14年度一般会計補正予算(第三号)																可決
個別外部監査契約に基づく監査について																可決
特別区競馬組合規約の変更について																可決
転入届不受理処分取消等請求事件に関する上告受理の申立てについて(2)																可決
①転入届不受理処分取消等請求事件に関する控訴の提起について(2)																可決
②転入届不受理処分取消等請求事件に関する控訴の提起について(2)																可決
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した転入届不受理処分取消等請求事件に対する控訴の提起の報告及び承認について(1)																報告 承認
平成13年度一般会計歳入歳出決算の認定			×													認定
平成13年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定			×													認定
平成13年度老人保健医療会計歳入歳出決算の認定			×													認定
平成13年度介護保険事業会計歳入歳出決算の認定			×													認定

会派名・構成人数 杉自/杉並自民議員連盟(12人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、共産/日本共産党杉並区議団(7人)、民主/民主党・区民連合(7人)、杉フ/杉並フロンティア(3人)、自民/自由民主党杉並区議団(3人)、生ネ/杉並・生活者ネットワーク区議団(2人)、革新/都政を革新する会(1人)、杉ブ/杉並市民プロジェクト(1人)、無/無所属(1人)、維新/平成維新(1人)、社民/社会民主党(1人)、私杉/私たちの杉並をつくる会(1人)、東自/東京自由民主党(1人)、区民/杉並区民会議(1人)、杉ル/杉並ルネッサンス(1人)  
 上記表①、②について ①は14年5月1日、転入届提出分。②は14年5月10日、転入届提出分。

**平成13年度各会計別歳入歳出決算額**

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	151,993,773,270円	146,285,345,567円	5,708,427,703円
国民健康保険事業会計	35,711,264,329円	34,872,391,973円	838,872,356円
老人保健医療会計	44,111,810,358円	44,026,459,436円	85,350,922円
用地会計	9,143,258,600円	9,143,258,600円	0円
介護保険事業会計	16,706,796,751円	16,583,962,153円	122,834,598円

**決算**  
 各会計の歳入歳出決算は、上表のとおり。

**予算**  
 14年度一般会計補正予算(第三号)  
 区民農園の整備や痴呆性高齢者グループホーム建設助成等、七六八万一〇〇〇円の追加。予算総額一三六億三三四万七〇〇〇円。

**契約**  
 個別外部監査契約の締結について  
 スポーツ振興財団の個別外部監査の実施にあたり、外部監査人として次の方と契約。公認会計士 森合 伊三男氏

**その他**  
 個別外部監査契約に基づく監査について  
 外部の専門家で構成された区外部評価委員会から推薦を受けたテーマ候補の中から、スポーツ振興財団を選定。

**転入届不受理処分取消等請求事件に関する上告受理の申立てについて**  
 14年1月29日及び2月19日に転入届を提出した宗教団体アレフ信者に、転入届不受理処分取消等請求事件の控訴審判決を不服として、上告受理の申立てをする。

**特別区競馬組合規約の変更について**  
 特別区競馬組合の競馬事業運営に民間的センスを導入するため、地方公営企業法の財務規定等の適用により、当事業運営に企業会計方式を導入するとともに、財務の権限を管理者が行うため収入役に關する規定を削除。  
 (15年4月1日施行)  
**転入届不受理処分取消等請求事件に関する上告受理の申立てについて**  
 14年3月13日に転入届を提出した宗教団体アレフ信者に関する転入届不受理処分取消等請求事件の判決を不服として、控訴を提起。  
**専決処分の報告**  
 14年3月13日に転入届を提出した宗教団体アレフ信者に関する転入届不受理処分取消等請求事件の判決を不服として、控訴を提起した旨の報告を受け承認。  
**杉並名誉区民を定めることについて**  
 次の方を杉並名誉区民と定める。  
 小柴 昌俊 氏  
 (ノーベル物理学賞受賞者)

**議事日程**  
 11月5日 本会議/6日 本会議/7日 本会議/8日 本会議、自治基本条例に関する特別委員会(正副委員長互選)、決算特別委員会(正副委員長互選)/11日 区民生活委員会、都市環境委員会/12日 保健福祉委員会、文教委員会/13日 総務財政委員会/14日 地方自治・分権等調査特別委員会、道路交通対策特別委員会、清掃・リサイクル対策特別委員会/15日 用途地域対策特別委員会、災害対策特別委員会、議会運営委員会/18日 決算特別委員会/19日 決算特別委員会/20日 決算特別委員会/21日 決算特別委員会/22日 決算特別委員会/25日 決算特別委員会

**新会派結成**  
 ・杉並ルネッサンス(杉ル)が結成されました  
 所属議員(一名)  
 とかしき なおみ  
 ・自由民主党改革連盟(自改)が結成されました  
 所属議員(一名)  
 藤本 卓三  
**会派変更**  
 吉田 武議員の所属会派が東京自由民主党(東自)から自由民主党杉並区議団(自民)へ変更になりました。

**転入届不受理処分取消等請求事件に関する控訴の提起について**  
 14年5月10日に転入届を提出した宗教団体アレフ信者に関する転入届不受理処分取消等請求事件の判決を不服として、控訴を提起。  
**転入届不受理処分取消等請求事件に関する上告受理の申立てについて**  
 14年5月1日に転入届を提出した宗教団体アレフ信者に関する転入届不受理処分取消等請求事件の判決を不服として、上告受理の申立てをする。

情報公開推進委員会の新しい構成をお知らせします。(平成14年12月5日現在)

委員長	青木 實
副委員長	今井 讓三
委員	山川 義三
委員	鈴木 信男
委員	横倉たかお
委員	武田 周吾
委員	吉田 武

**審議した議案**  
 第四回定例会では、次の議案を審議し、いずれも可決しました。  
**自治基本条例**  
 杉並区における自治の基本理念やあり方、区民等の区政への参画及び協働の仕組みなど、区政の基本事項を定めるため制定。(一部修正して可決)  
**まちづくり条例**  
 まちづくりの基本理念を定め、区、区民及び事業者の責務を明らかにするとともに、まちづくりに関する施策の基本的事項及び参画の手続きを定めるため制定。  
**杉並名誉区民条例**  
 杉並区の発展その他公共の福祉の増進又は学術、技芸その他広く社会文化の興隆に貢献し、かつ、区民が郷土の誇りとして尊敬すると認められる者に対し、その功績をたたえ、杉並名誉区民の称号を贈るため制定。  
**区立社会教育センター及び社会教育会館条例の一部改正**  
 区立社会教育センター、社会教育会館の役割を区民の集い、高井戸社会教育会館を廃止するため改正。  
**区職員の給与に関する条例の一部改正**  
 職員の給与を率で平均一・六七%、金額で平均七三九六円引き下げることにし、初任給調整手当及び扶養手当の改定を行い、期末手当の支給月数を〇・〇五月分引き下げ、特例一時金を廃止するため改正。  
**区立社会教育センター及び社会教育会館条例の一部改正**  
 区立社会教育センター、社会教育会館の役割を区民の集い、高井戸社会教育会館を廃止するため改正。  
**区営住宅条例の一部改正**  
 次の区営住宅に有料制自動車駐留場の設置とその使用料を定めるため改正。  
**区営下井草二丁目アパート・区営成田東二丁目アパート**  
**区職員の給与に関する条例の一部改正**  
 一般職員と同様に給与の改定(初任給調整手当の改定は除く)等を行うとともに、教育公務員特例法の一部改正に伴う所要の規定の整備を図るため改正。  
**個別外部監査契約に基づく監査について**  
 外部の専門家で構成された区外部評価委員会から推薦を受けたテーマ候補の中から、スポーツ振興財団を選定。

**杉並区自治基本条例に付する付帯決議**  
 本条例の施行に当たり、杉並区長は、次の諸点について誠意をもって対処すべきである。  
 一 本条例の杉並区における住民自治発展の基盤としての重要性に鑑み、本条例の趣旨、内容について、区民の十分な理解が得られるよう周知徹底に努めること。  
 二 区が定める最高規範である本条例の趣旨との整合性を図るため、新たに条例等を制定するに当たっては本条例の趣旨を最大限尊重するとともに、既に制定してある条例等についても早急に見直しを進めること。  
 三 本条例は、全く新たな自治立法の試みであることから、条例施行後一定期間の施行状況等を勘案し、検討のうえ、その結果に基づいて必要な措置を講ずること。

**お知らせ**  
 9日 道路交通対策特別委員会(浜田山駅以南地域の南北バス交通について視察)/11日 災害対策特別委員会(東京都下水道局落合処理場を視察)/13日 区民生活委員会/17日 用途地域対策特別委員会(用途地域に関する視察)/19日 保健福祉委員会、文教委員会/25日 区民生活委員会/26日 清掃・リサイクル対策特別委員会  
 12月9日 道路交通対策特別委員会(浜田山駅以南地域の南北バス交通について視察)/11日 災害対策特別委員会(東京都下水道局落合処理場を視察)/13日 区民生活委員会/17日 用途地域対策特別委員会(用途地域に関する視察)/19日 保健福祉委員会、文教委員会/25日 区民生活委員会/26日 清掃・リサイクル対策特別委員会  
 11月25日 決算特別委員会/26日 議会運営委員会、決算特別委員会(意見発表)、本会議、総務財政委員会、文教委員会/27日 自治基本条例に関する特別委員会/28日 自治基本条例に関する特別委員会(審査終了後に意見発表)/29日 議会運営委員会、本会議  
 9日 道路交通対策特別委員会(浜田山駅以南地域の南北バス交通について視察)/11日 災害対策特別委員会(東京都下水道局落合処理場を視察)/13日 区民生活委員会/17日 用途地域対策特別委員会(用途地域に関する視察)/19日 保健福祉委員会、文教委員会/25日 区民生活委員会/26日 清掃・リサイクル対策特別委員会